

ことばとこんとらはすそのに

# コントラバス と名付けられた言葉

2月17日(月)

2025年

杉並公会堂  
小ホール

開場18:30 開演19:00



委嘱新作

「文学」  
「音楽」  
「演劇」  
の新境地

全4作 初演



m.k.

「コントラバス」がつなげる

作曲 山本学 原作 A.チエーホフ  
《コントラバスとフルートある小景》

作曲 野村誠 原作 P.ジュースキンント

一人芝居 《コントラバス》のための  
コントラバス四重奏曲

コントラバス奏者(役)  
演出・演技指導  
照明  
指揮

近藤聖也  
倉品淳子  
田中稔彦  
茶木修平

コントラバス  
コントラバス奏者(役)

## 近藤聖也

コントラバス四重奏

ソプラノ 薬師寺典子 バリトン 松平敬 朗読 濑戸楨之介 駒井朗  
フルート 丁仁愛 指揮 茶木修平 中村杏葉 富田充

一般4000円

学生2000円

当日券 各500円増

カンフェティ



協力：日本音楽財団(日本財団助成事業)

助成：公益財団法人光山文化財団

公益財団法人東京都歴史文化財団

アーツカウンシル東京【東京ライブ・ステージ応援助成】

問い合わせ：kondorabass@gmail.com 080-6063-7923(近藤) 主催：こんどうベースオブアーツ

福士りか

2023年 杉書房

## 歌集《大空のコントラバス》

青森県で国語教師を務めていた歌人の福士りかによる歌集。生徒との交流、母親との死別、そして自身の病により少しづつ体の自由が失われながらも生活は続していく。授業、通院、料理、雪掻き。そこに生きる人々の息遣いを感じるような雪国での日常が鮮やかに詠われる中、ふと「コントラバス」が想起される。

### なかにしあかね 作曲

東京芸術大学音楽学部作曲科卒業。ロンドン大学ゴールドスミスカレッジ大学院にて作曲修士号、キングスカレッジ大学院にて作曲博士号を修める。作曲をサーア・ハリソン・パートヴィスル、声楽伴奏法を故ジェフ・フリー、バーソンズ各氏に師事。第66回日本音楽コンクール作曲部門第1位並びに安田賞受賞。国際ラントン・シューベルト作曲コンクール入賞など入選・入賞多数。指揮、指導、審査員、講習会講師、執筆活動など、音楽文化を多角的にとらえた活動を展開している。平成17年度文化庁在外研修員。現在、神戸女学院大学、同大学院教授。

## パトリック・ジュースキント 一人芝居《コントラバス》

オーケストラの平団員であるコントラバス奏者の独白劇。音楽、情愛、そしてコントラバスに対するあらゆる想いや苦悩が自虐的に、コミカルに、そして時に破滅に向かうのような狂気を孕みながら、防音室の中にまき散らされる。犯罪小説の傑作『香水』でも知られるジュースキントによる、このコントラバス奏者必読の怪作を“コントラバス奏者自ら”が演じる。

### 野村誠 作曲

作曲作品に、美術家島袋道浩の《弓から弓へ》のための音楽、コントラバスを弓道の弓で演奏する《弓から弓へ》(2016)、低音デュオのための《どこぞい! シュトックハウゼン》など、著書に「音楽の未来を作曲する」(晶文社)、「即興演奏ってどうやるの?」(あおぞら音楽社、片岡祐介との共著)などがある。片岡祐介は音楽祭ティレクター。日本セシチューリー交響楽団コミュニケーションプログラムディレクター。日本相撲芸術作曲家協議会(JACSHA)理事。熊本県在住。

### 倉品淳子 演出・演技指導

俳優・演出家・ワークショップファシリテーター・その他エンゲギを広める活動家。元山の手事情社団員。綾瀬シニア劇団プロジェクトリーダー。クロスジャパンバンド“門限ズ”メンバー。宮城住民劇団えざこシアター演出。演出作品：綾瀬シニア劇団Hale「ジャマナノナカナカナモノ」、えざこシアター公演「くるりくるり」、「BUNNA」(奈良県障害者芸術祭招待作品)、大阪府障がい者舞台芸術オープンカレッジ2019演劇公演「独創木がちがち山」他多数。



©Viole Record

近藤聖也

### コントラバス・コントラバス奏者(役)

北海道大学工学部卒業。国立音大大学院修了。2022年12月に日本現代音楽協会主催で公募リサイタル「Ghost in the Doublebass」を開催、NHKラジオ「現代の音楽」にて全国放送された。また、北とびあ国際音楽祭2023にて、現代作品のみによるコントラバスアンサンブル「It's Time for Doublebass!!」を開催。ソロや室内楽におけるコントラバスの可能性の開拓、確立のため、漸進的な公演企画や演奏を行っている。勝手に。こんだベースオブアーツ代表。歌・朗読を伴う委嘱作品を収録したCD「ことばとことらばす」がコジマ録音より発売中。

### コントラバス四重奏



瀬戸槇之介

駒井朗

富田堯

中村杏葉



### きむらめぐみ メインビジュアル

宮城県仙台市出身。大学のスペイン語の授業中に、白い妖精「ヨビボエン」について。以降、イラストや絵本などの作品を通して表現し続けている。また、3DCGバースデザイナーとして2021年に独立。建築バースを中心に制作している。

杉並公会堂

〒167-0043 東京都杉並区上荻1-23-15

荻窪駅北口 (JR中央線・総武線・東京メトロ丸ノ内線) より 徒歩7分

2008年 本阿弥書店

細溝洋子

## 連作短歌《コントラバス》

愛知県出身の歌人の細溝洋子による連作短歌。夏のとある日、同窓会をきっかけに過去の思い出がありありと蘇ってくる。自転車で駆け下りたあの道、当時と変わらない旧友との会話、想いを寄せていた人との再会、過去の選択、そうした過去の思慕にコントラバスは寄り添い、そして心惹かれながらも、銀杏の舞い降る秋を待つ。2006年第18回歌壇賞受賞作品。

### 作曲 稲森安太己

1978年東京生まれ。東京学芸大学にて作曲を山内雅弘氏に、ケルン音楽舞踊大学にてミヒャエル・バイル、ヨハネス・シェルホルンの両氏に師事。西部ドイツ放送交響楽団、キューリッシュニビ管弦楽団、ブリュッセル・フィルハーモニー管弦楽団、新日本フィルハーモニー管弦楽団等の演奏団体によってドイツ、フランス、イタリア、アメリカ、ベルギー、日本ほかの国で作品が演奏されている。2007年日本音楽コンクール第1位、2011年ベルント・アロイス・ツィンマーマン奨学生賞、2019年芥川也寸志サントリー作曲賞ほか。現在、熊本大学特任准教授。



1885年ベテルブルク新聞

### アントン・チェーホフ

## 《コントラバスとフルートある小景》

『チエーホフの銃』でも知られるロシアの劇作家アントン・チエーホフによる短編。親友同士であるコントラバス奏者とフルート奏者がルームシェアを始めるも、性格も生活習慣も何一つ気が合わない。度々口論になるも、フルート奏者は親友を思いやって我慢し続けていたが、2人の共同生活はコントラバス奏者の一言により思わず結末を迎える。

### 作曲 山本学

国立音楽大学大学院修了。静岡県立大学短期大学部講師。桐朋学園大学附属子供のための音楽教室仙川キャンパス非常勤講師。著書に、「山本学歌曲集」(カワイ出版)、合唱曲「きみはだれ」(ハナムジカ出版)、「保育者になるためのピアノ教本」(エイデル研究所)など。同書は全国10校以上の大学、短大等の保育の教科書に採用されている。2024年は、静岡県立ふじのくに国際高校校歌、神奈川県立厚木王子高校校歌作曲、JAXA(宇宙航空研究開発機構)はやぶさ2の絵描き歌優秀賞、同宇宙教育教材採用。



## 「コントラバス」と 「コントラバス文学」の出会い

### 薬師寺典子 ソプラノ

東京芸術大学卒業後、ベルギーへ留学。ソプラノブリュッセル王立音楽院修士課程、ゲント王立音楽院現代音楽科上級修士課程修了。2018/20年度イクトゥスアカデミー生。ベルギー政府給費奨学生、野村財团奨学生。現代音楽コンクール「競楽」第三位受賞。リエージュ王立歌劇場「子供と魔法」子供役を始め、ヨーロッパと日本で様々なオペラやコンサートに出演。近現代のヴァーグナー作品を集めたCD「ムネモシュネ」発売中。日仏現代音楽協会会員。  
HP : <https://noriko.yakushiji.be/ja/>



### 松平敬 バリトン・朗読



東京芸術大学卒業、同大学院修了。現代声楽曲のスペシャリストとして、湯浅謙二、松平頬暉、西村朗など150作以上の新作を初演。サンリーホール・スマーフェティパル、新国立劇場などに出演。ソロCDとしてこれまで、「MONO-POLI」(平成22年度文化庁芸術祭優秀賞)ほか3枚のアルバムを発表。チュー・バの橋本晋哉氏とのユニット「低音デュオ」名義としても2枚のCDを発表。2019年には著書『シュトックハウゼンのすべて』を出版(第32回ミュージック・ベンクラブ音楽賞)。

### 丁仁愛 フルート



フルート奏者。演奏、作編曲、描画、詩作を行う。東京藝術大学器楽科卒業。現代奏造Tokyo団員。21世紀音楽の会、神奈川県民ホール主催「CXC」シリーズ、作曲家・川島素晴氏主催WORKSシリーズ、佐藤紀雄プロデュース公園通りシリーズ、自主公演Ensemble Triptychシリーズ、東京藝術大学主催「Tokyo Independent」絵画展出展、高尾599ミュージアム上映作品の楽曲制作等。Twitter(X) : @inaecantabile

### 茶木修平 指揮



平成11年生まれ。国立音楽大学指揮者コース、東京音楽大学指揮研修講座で学ぶ。「青少年のための現代音楽演奏講座」(講師:川島素晴氏)、細川俊夫氏公開講座、日仏現代音楽協会主催「日仏指揮法講座」などを受講。平義久「ルサック」(1981)の日本初演を指揮、K.シュトックハウゼン「クラシング」4時間目、天国の扉(2005)を日本初演。国重要文化財「臨江閣」での美術展「RINKO KAKU "茶室"プロジェクト」にてゲスト音楽家として現代音楽のプログラムを演奏。指揮を馬場武蔵、田代俊文、夏田昌和の各氏に師事。Twitter : @ShuheiChiba



PATRICK SÜSKIND : DER KONTRABASS  
Stage rights by Diogenes Verlag AG Zürich.